



19四 建 第 40 号  
平成19年 4月25日

国土交通省道路局長 様

高知県四万十市

市長 澤田 五十六



## 今後の道路政策や道路の整備・管理について（回答）

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のあった件について、  
下記のとおり回答します。

### 記

#### 1. 重点化を進める上で特に優先度の高い施策

本市は四国西南地域に位置し、「最後の清流四万十川」に代表される、自然豊かな地方都市であり、農林水産業や観光を主な産業としています。しかしながら、高速道路等の幹線交通ネットワークの整備が遅れていることに加え、近年の厳しい財政事情から地域の生活道路等の整備も思うように進まないことから、これらの産業の発展が阻害されているほか、市民の救急・防災活動等にも支障をきたしているところでもあります。

したがって、市民生活の向上及び市政発展の観点から、優先度の高い道路整備事業は以下のとおりと考えます。

- (1) 「四国8の字ネットワーク」等の高規格幹線道路の早期整備
- (2) 国道441号線の早期改良をはじめとする、市町村合併の支援策としての道路整備
- (3) 「幡多けんみん病院」等の住民の安全・安心のための拠点施設へのスムーズなアクセスを担う県道・市道の整備（国庫補助事業、道路交付金事業）
- (4) 「四万十かいどう」をはじめとする、良好な自然環境にマッチした橋梁・道路施設の整備及び管理

#### 2. 重視すべきこと

近年の施策は、大都市に偏重し、投資効果のみを重視する傾向が見られ、地方（特に山間地域等）における住民生活の維持・発展が軽視されているように思われます。地方行政においては、都会では考えも及ばないような

施策やコストが必要であり、これらを見捨てることは日本全体の衰退に結びつく恐れもあります。したがって、国におかれては、地方の実情を良く理解いただき、住民の生命の安全や防災上の観点から必要な投資に重点をおいていただきたいと思います。